

■中国：国家電網有限公司、上半期純利益は大幅減

2019年10月9日付の電力専門紙によると、世界最大の電気事業者である国家電網有限公司の上半期における純利益が昨年同期比で大幅な減少となり、経営が厳しくなっていると報じた。国家電網有限公司の社内会議で、2019年上半期の売上金額は1兆2,400万元（約18兆6,000億円）、昨年同期比3.3%増加であるものの、純利益は同15.26%減少の304億元（約4,560億円）にとどまっていることが報告された。同社会長である寇偉（Kou Wei）氏は電力体制改革の進化、社内改革を通じて、コスト削減、売上増、新規需要の開拓、金融事業のテコ入れなどの施策により下半期の経営指標の挽回を訴えた。なお、国家電網有限公司を含む送配電会社は政府の電力料金の値下げ政策に対応し、2018年に続き、2019年も、業務用電力の一部料金を1割ほど値下げしている。